

各 位

上場会社名	株式会社 藤商事
代表者	代表取締役社長 松元 邦夫
(コード番号)	6257)
問合せ先責任者	上席執行役員管理本部長 桜井 健一
(TEL	06-6949-0323)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,500	440	480	300	1,176.68
今回発表予想(B)	20,550	2,010	2,050	1,410	5,530.39
増減額(B-A)	4,050	1,570	1,570	1,110	———
増減率(%)	24.5	356.8	327.1	370.0	———
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	9,690	△968	△905	△719	△2,821.95

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,000	4,400	4,500	2,750	10,786.22
今回発表予想(B)	51,000	6,200	6,300	3,800	14,904.59
増減額(B-A)	7,000	1,800	1,800	1,050	———
増減率(%)	15.9	40.9	40.0	38.2	———
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	40,479	3,511	3,591	2,058	8,073.04

### 修正の理由

#### (1)第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間におきましては、パチンコホールの収益性、資金面ともに依然として厳しい状況が継続することや、北海道洞爺湖サミット開催に伴う遊技機の入替自粛期間終了後に、競合機種が集中するなどの影響を見込んでおりましたが、当社販売機種の商品性などについて、一定以上の評価を得られたことにより、パチンコ遊技機の販売が好調に推移いたしました。

7月下旬から納品を開始いたしました「CRジュラシックパークMAX」につきましては、パチンコホールの注目度が高まっているスペックを備えていたことや、益商戦に向けたタイムリーな新機種の投入となったことにより、当初の計画を上回る、33千台の販売実績となりました。

続いて、9月下旬から納品を開始いたしました「CR暴れん坊将軍3」につきましては、大型版權シリーズ第3弾として、発売当初よりパチンコホールの注目を集めるとともに、CM放映による宣伝効果もあり、当初の計画を上回る受注台数(約70千台)を確保し、ほぼ完売の見通しとなりました。

そのうち、第2四半期の販売台数として23千台を計上することから、当第2四半期累計期間のパチンコ遊技機の合計販売台数は、当初の計画60千台を上回る、73千台となる見込みとなりました。

この結果、売上高および各利益ともに前回予想を上回ることとなったため、業績予想を修正いたします。

(2)通期

パチンコ遊技機につきましては、「CR暴れん坊将軍3」が10月以降にも相当数導入されることとなったため、当機種のパチンコホールでの稼働状況を見込んだ、適切な商品販売サイクル等を考慮し、第3四半期以降の販売計画は3機種107千台とし、通期では、6機種180千台(当初計画7機種160千台)にいたしました。

また、パチスロ遊技機につきましては、10月中旬から納品を開始いたしました「パチスロ アカギ」の受注状況を踏まえ、通期の販売計画を2機種7千台(当初計画2機種3千台)にいたしました。

以上の結果、売上高および各利益ともに前回予想を上回る見通しとなったため、業績予想を修正いたします。

※上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上